

町立辰野病院経営強化プランに関する
点検・評価報告書
(令和6年度)

令和7年9月

町立辰野病院経営強化プラン実施状況 点検・評価報告 (令和6年度)

町立辰野病院経営強化プランは、令和5年度から令和9年度までの5年間を目標期間とし、地域住民の皆様に安心安全な医療を提供できるような持続可能な地域医療提供体制を確保するため策定しました。また、このプランは、毎年実施状況について点検・評価を行い公表することとしています。

1 総括

令和6年度の病院事業は、令和5年度に引き続き経営状況が厳しく、院内で経営改善プロジェクトチームを立ち上げ、患者確保対策及び地域連携強化対策に取り組みました。しかし、患者数はコロナ禍以前の水準に回復せず、一般会計から120,000千円の繰入金を増額していただきましたが、人件費の引き上げや前年度からの物価高騰等による影響で赤字決算となりました。

収益的収支については消費税抜きの金額で、収益総額は、2,319,128千円、支出総額は、2,362,740千円、収支差引では、43,612千円の赤字決算となりました。

収益的収入の内医業収益については、外来収益は減少となった一方で、入院収益は増加となり合計すると前年度に比べ0.6%、10,825千円の増となりました。医業外収益については一般会計からの繰入金の増額により前年度に比べ22.0%、85,962千円の増となりました。また、訪問看護事業収益は55,358千円、居宅介護支援事業収益は11,629千円となりました。

対する収益的支出につきましては、医業費用、医業外費用合わせまして、前年度に比べ0.7%、16,087千円の増となりました。患者数減により薬品費・経費等は減額、給与費においては人事院勧告による支給額引き上げが主な要因です。訪問看護事業費用は59,795千円、居宅介護支援事業費用は13,311千円で職員の給与費が主なものです。

資本的収支については消費税込みの金額で、収入総額は、39,800千円で、企業債、一般会計出資金です。支出総額は、159,626千円で、医療備品購入など建設改良費が41,561千円、企業債償還金が118,065千円です。資本的収支不足額119,826千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分及び当年度分損益勘定留保資金で補填しました。

一般会計からの繰入金は、520,000千円で、前年度に比べ125,000千円の増額となりました。

現在の病院経営は大変厳しい状況ですが、職員全体が経営改善に向けた取り組みに関わり、地域に密着した必要とされる病院となるよう経営強化に取り組んでまいります。

2 取り組みの実施状況

I 役割・機能の最適化と連携の強化 (P17)

(ア) 地域医療構想等を踏まえた町立辰野病院の果たすべき役割・機能

当院の役割としては上伊那北部を中心に主に回復期や慢性期の患者受け入れを担っており、現在、病床数 100 床で運営しております。引き続き、上伊那北部地域の軽症から中等症の入院を要する患者への救急医療や在宅支援入院等の受け入れに積極的に取り組んでいき、ニーズに応じて病床機能見直しの検討に取り組んでまいります。

令和 6 年度は県の個別経営コンサルティング支援事業へ参加し、当院の診療データや関係職員へのヒアリング等に基づき、収支シミュレーションを行い、実現性・収益性の高い病床機能について以下の提案いただきました。

(シミュレーションによる提案内容)

- ①地域包括ケア病床を増床（37 床→80 床程度が効果的）
- ②地域包括ケア病棟入院料(入院医療管理料)の届出変更（2→1）
- ③病床稼働率の増加に向けた目標値設定（病床稼働率増加に向けたシミュレーションでは、急性期病床において新入院患者数 81 人、平均在院日数を 18.6 日となれば病床稼働率 80%を維持→目標値の設定と周知が必要。）

結果を受け、当院の方向性としては病床数 100 床のまま継続し、地域包括ケア病床と一般病床の配分を検討するため、各部門の代表者等によるプロジェクトチームを立ち上げました。今後、地域包括ケア病床の配分や届出変更のための準備を進めて参ります。

(イ) 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割 (P17)

当院での果たすべき具体的な役割については、救急医療体制の維持、基幹病院との医療連携、入院医療体制の維持をしており、在宅医療（訪問診療、訪問看護、訪問リハビリ等）の拡充も進めております。また、町民の健康を守る立場から上記以外の保健、介護、福祉の各分野への協力について積極的に取り組んでおります。また、感染症対応についても、平時より外来診療・検査体制・入院患者受け入れ等の体制を整備しております。

3 数値目標の実績（※令和7年3月一部数値改定）

【評価基準】

評価基準を以下のように設定します。

評価点	達成率の基準	評価内容
S	110%以上	目標を相当程度上回り達成した
A	100%以上 110%未満	目標を達成した
B	90%以上 100%未満	目標を達成するための取組が必要である
C	90%未満	目標を達成しておらず、改善が必要である

※達成率(%)＝当該年度の実績／当該年度の目標値(小数第2位を四捨五入)

＜医療の質や機能、連携の強化等に係る項目＞（P19）

①医療機能・医療の質に係る項目

	R5 年度 (実績)	R6 年度 (目標)	R6 年度 (実績)	比較	達成率 (%)	評価
救急車来院患者数(人)	477	500	658	158	131.6	S
地域救急貢献率(%)	6.7	7.5	8.6	1.1	114.7	S
訪問診療件数(件)	48	55	59	4	107.3	A
訪問看護件数(件)	6,360	6,400	6,075	-325	94.9	B
訪問リハビリ件数(件)	4,479	4,600	5,049	449	109.8	A
院内リハビリ単位数(単位)	40,937	42,000	42,047	47	100.1	A
栄養指導件数(人)	1,946	1,990	2,230	240	112.1	S
薬剤管理指導件数(件)	3,640	3,730	4,934	1,204	132.3	S
年間検査件数(件)	331,546	310,000	337,652	27,652	108.9	A
年間放射線件数(件)	10,646	10,730	11,108	378	103.5	A
在宅復帰率(地域包括 ケア病床)(%)	85	85	90.6	5.6	106.6	A

・全体的に目標とする水準を達成できました。特に、救急車来院患者数及び地域救急貢献率の増加が見られました。訪問看護件数は死亡等による患者減少に対して、新規利用者が少なかったことが目標達成できなかった要因の一つと考えられます。

②連携の強化等に係る項目

	R5 年度 (実績)	R6 年度 (目標)	R6 年度 (実績)	比較	達成率 (%)	評価
紹介率(%)	21	21	22	1	104.8	A
逆紹介率(%)	23.7	22	29.1	7.1	132.3	S
クリニカルパス件数(人)	7	10	22	12	220	S

・紹介率、逆紹介率ともに目標とする水準を達成できました。また、クリニカルパスの件数は2倍以上の実績があり、今後も維持していきたいと考えております。

③その他の項目

	R5 年度 (実績)	R6 年度 (目標)	R6 年度 (実績)	比較	達成率 (%)	評価
健康診断件数 (件)	852	864	822	-42	95.1	B
人間ドック件数 (件)	111	120	118	-2	98.3	B
居宅介護支援件数	778	600	998	398	166.3	S
地域医療研修への協力 (件)	2	2	4	2	200.0	S

・健康診断と人間ドックの件数が目標とする水準を達成できませんでした。次年度以降には体制を整えて目標を達成できるよう集客を目指してまいります。

・居宅介護支援件数は増加傾向にありました。また、地域医療研修への協力は一定の協力体制が構築できてきておりますので今後維持していきたいと考えております。

＜経営指標に係る項目＞ (P27)

(※項目の最初に*がついているものは比較がマイナスであるほど良い項目)

①収支改善に係るもの

	R5 年度 (実績)	R6 年度 (目標)	R6 年度 (実績)	比較	達成率 (%)	評価
経常収支比率	94.9%	97.3%	98.2%	0.9	100.9	A
医業収支比率	80.1%	79.8%	79.8%	0.0	100.0	A
修正医業収支比率	76.7%	76.3%	76.4%	0.1	100.1	A
*累積欠損金比率	2.0%	5.7%	4.5%	▲1.2	121.1	S

・全体として目標とする水準を達成できました。

②収入改善に係るもの

	R5 年度 (実績)	R6 年度 (目標)	R6 年度 (実績)	比較	達成率 (%)	評価
病床稼働率(%)	80.6	73.5	74.5	1.0	101.4%	A
1日あたり入院患者数(人)	77.2	73.5	74.5	1.0	101.4%	A
1日あたり外来患者数(人)	243.1	240.0	233.9	▲6.1	97.5%	B
入院患者1人1日当たりの診療収入(円)	33,593	34,500	34,791	291	100.8%	A
外来患者1人1日当たりの診療収入(円)	11,036	11,000	10,593	▲407	96.3%	B

・病床稼働率と1日あたり入院患者数は目標に比べて若干上回りましたが、外来患者数は目標より少ない水準でした。

・患者1人1日当たりの診療収入は、入院では目標値を超える結果となりましたが、外来では目標値より低い水準でした。

③経費削減に係るもの

	R5 年度 (実績)	R6 年度 (目標)	R6 年度 (実績)	比較	達成率 (%)	評価
*給与費対医業収益比率(%)	68.3	73.1	71.6	▲1.5	102.1	A
*材料費対医業収益比率(%)	14.0	14.0	14.8	0.8	94.3	B
*薬品費対医業収益比率(%)	11.0	11.0	8.4	▲2.6	123.6	S
*経費対医療収益比率(%)	28.0	28.0	30.2	2.2	92.1	B
*100 床当たり正規職員数(人)	148	146	147	1	99.3	B

・材料費、経費は目標とする水準を達成できませんでしたが、給与費、薬品費では目標を達成しました。また、正規職員数は予定より 1 名多かったです。

④経営の安定性に係るもの

	R5 年度 (実績)	R6 年度 (目標)	R6 年度 (実績)	比較	達成率 (%)	評価
常勤医師数(人)	7	7	8	1	114.3	S
医師(常勤換算)数(人)	12.7	12.5	13.3	0.8	106.4	A
薬剤師(常勤換算)数(人)	2	2	2	0	100.0	A
*看護師(常勤換算)数(人)	100.0	98.0	92.4	▲5.6	105.7	A
*企業債未償還残高(百万円)	1,501	1,450	1,385	▲65	104.5	A

・常勤医師数・医師の常勤換算数は目標値を上回りました。薬剤師は維持、看護師は目標値よりも上回りました。企業債は予定借入額が繰り越されたため、未償還分が目標よりも減少となりました。

3 目標達成に向けた具体的な取組

経営指標に係る数値目標を達成するため、以下に掲げた事業について取り組んでおり、その実績をまとめてあります。

①収入増加・確保対策

(1) 医師、薬剤師等の医療従事者確保対策

事業内容	取り組み内容	実績結果
医師、薬剤師等の医療従事者確保対策	医師確保	8名（1名増）
	薬剤師確保	2名（変化なし）
患者サービスの向上	接遇研修実施 積極的な施設整備や業務改善 患者満足度調査	・接遇研修（R6 14回実施） ・土・日・祝日（365日）リハビリ開始（R6.11～） ・透析センターテレビ無料化（R6.10～） ・患者満足度調査（R6.11実施）
医療の質向上による患者確保対策	救急車・時間外患者の受け入れ、時間内患者の確実な受け入れ	・救急車受け入れ 658件（前年比+179） ・時間外患者の受け入れ 1,246件（前年比+226）
地域連携体制の強化	地域連携職員の体制強化 顔の見える関係づくり 医療機関への訪問連携強化	・開業医への訪問実施 ・開業医や介護施設等へのアンケート実施（R7.2） ・ホームページ見直し
適正な診療報酬の確保対策	専門的な職員の施設基準検証 診療報酬改定等への対応 診療報酬確保の取組 医療機能や規模の見直し	・経営企画係長の配置（R7.1～） ・令和6年6月診療報酬改定への対応 ・県の「病床機能再編・連携強化支援事業」による病床機能の見直し（R6.8～12） ・退院コントロールの呼びかけ
未収金の管理強化	医療費未払い患者への督促 回収不能者の欠損処理	・患者未収金合計 令和6年度末 9,913千円 （前年比 ▲2,675千円） ・不能欠損処理 令和6年度 836千円

②経費削減・抑制対策

事業内容	取り組み内容	実績結果
人件費比率の適正化 対策	人員配置の見直し 雇用形態の見直し	・人件費抑制につながる人 員配置や雇用形態の見直し
委託業務の効率化 及び委託料の抑制	契約内容の見直し 業務の見直し 長期契約化による委託料抑制	・契約内容及び業務見直し による委託料抑制
材料費、消耗品・ 消耗備品費の削減	購入価格の適正化 共同購入による価格抑制の検 討 管理一元化による不良在庫削 減	・業者との価格交渉を継続 実施。 ・低価格同等品への随時変 更 ・部署ごとの定数見直しに よる適正化実施(通年)
施設・設備整備費等 の抑制	効率的な医療機器の購入 医療機器の計画的な更新	・病院情報システムの効率 的な更新 ・透析関係設備の更新見直 し
光熱水費の抑制	光熱水費の抑制 照明のLED化検討	・節電の取り組み 令和6年度 1,630,439kWh (前年比 -31,728kWh)
実施事業の 根本的な見直し	事業規模や内容の見直し 事業の適正化	・透析ベッド数の見直し

③マネジメントや事務局体制の強化

(1)人材確保、人材育成対策

看護職員の奨学資金貸与事業 令和6年度末現在 1名へ貸与

(2) 職員の経営意識の向上

令和6年度 プロジェクトチーム(PT)の立ち上げ

- ・患者確保対策プロジェクトチーム 10回開催
- ・地域連携体制強化プロジェクトチーム 8回開催
- ・病床機能再編プロジェクトチーム(R6～R7) 5回開催

4 収支計画の実施状況（※令和7年3月一部数値改定）

① 収支計画（収益的収支）

年度		令和3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度 (実績)	6年度 (見込)	6年度 (実績)	比較	7年度 (目標)
区分								
収入	1. 医 業 収 益 a	1,830	1,949	1,765	1,780	1,776	▲ 4	1,853
	(1) 入 院 収 益	912	950	890	928	946	18	1,013
	(2) 外 来 収 益	706	811	710	685	659	▲ 26	673
	(3) そ の 他 医 業 収 益	212	188	165	167	171	4	167
	うち他会計負担金	79	84	75	77	77	0	77
	2. 医 業 外 収 益	472	445	456	544	543	▲ 1	441
	(1) 他会計負担金・補助金	287	262	258	389	389	0	296
	(2) 国（県）補助金	37	47	48	10	10	0	0
	(3) 長期前受金戻入	27	16	26	23	23	0	22
	(4) そ の 他	121	121	124	122	121	▲ 1	123
	経 常 収 益 (A)	2,302	2,394	2,221	2,324	2,319	▲ 5	2,294
支出	1. 医 業 費 用 b	2,135	2,195	2,204	2,231	2,225	▲ 6	2,270
	(1) 給 与 費 c	1,172	1,192	1,223	1,302	1,271	▲ 31	1,290
	(2) 材 料 費	266	301	287	266	263	▲ 3	236
	(3) 経 費	531	541	538	506	537	31	585
	(4) 減 価 償 却 費	156	150	150	149	149	0	151
	(5) そ の 他	10	11	6	8	5	▲ 3	8
	2. 医 業 外 費 用	115	141	137	158	138	▲ 20	126
	(1) 支 払 利 息 等	1	1	1	1	1	0	2
	(2) そ の 他	114	140	136	157	137	▲ 20	124
	経 常 費 用 (B)	2,250	2,336	2,341	2,389	2,363	▲ 26	2,396
	経 常 損 益 (A)－(B) (C)	52	58	▲ 120	▲ 65	▲ 44	21	▲ 102
特別損益	1. 特 別 利 益 (D)	0	0	0	0	0	0	0
	2. 特 別 損 失 (E)	0	0	0	0	0	0	0
	特 別 損 益 (D)－(E) (F)	0	0	0	0	0	0	0
純 損 益 (C)＋(F)		52	58	▲ 120	▲ 65	▲ 44	21	▲ 102
累 積 欠 損 金 (G)		0	0	36	101	79	▲ 22	202
流 動 資 産 (ア)		391	457	319	259	298	39	187
流 動 負 債 (イ)		290	280	271	276	285	9	363
う ち 一 時 借 入 金		0	0	0	0	0	0	100
翌 年 度 繰 越 財 源 (ウ)		0	0	0	0	0	0	0
当年度同意等債で未借入又は未発行の額 (エ)		0	0	0	0	0	0	0
単 年 度 資 金 収 支 額 (オ)		78	75	▲ 129	▲ 65	▲ 32	33	▲ 159
累 積 欠 損 金 比 率 $\frac{(G)}{a} \times 100$		0	0	2.0	5.7	4.5	▲ 1.2	10.9
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$		102.3	102.5	94.9	97.3	98.2	0.9	95.7
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$		85.7	88.8	80.1	79.8	79.8	0.0	81.6
修 正 医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$		82.0	85.0	76.7	76.3	76.4	0.1	78.2
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{c}{a} \times 100$		64.0	61.2	69.3	73.1	71.6	▲ 1.5	69.6
病 床 稼 働 率		79.8	80.6	72.4	73.5	74.5	1.0	76.0

②収支計画（資本的収支）

年度		令和3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度 (実績)	6年度 (見込)	6年度 (実績)	比較	7年度 (目標)
区分								
収 入	1. 企 業 債	19	75	28	32	32	0	160
	2. 他 会 計 出 資 金	20	0	10	10	8	▲ 2	25
	3. 他 会 計 負 担 金	0	0	0	0	0	0	0
	4. 他 会 計 借 入 金	0	0	0	0	0	0	0
	5. 他 会 計 補 助 金	0	0	0	0	0	0	0
	6. 国（県）補 助 金	7	0	0	0	0	0	1
	7. そ の 他	0	0	1	0	0	0	0
	収 入 計 (a)	46	75	39	42	40	▲ 2	186
	うち翌年度へ繰り越される 支 出 の 財 源 充 当 額 (b)	0	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0	0
支 出	純計(a)－[(b)+(c)] (A)	46	75	39	42	40	▲ 2	186
	1. 建 設 改 良 費	67	106	67	50	42	▲ 8	267
	2. 企 業 債 償 還 金	101	106	118	118	118	0	130
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金	0	0	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	0	0	0	0	0	0	0
差 引	支 出 計 (B)	168	212	185	168	160	▲ 8	397
	差 引 不 足 額 (B)－(A) (C)	122	137	146	126	120	▲ 6	211
	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	122	111	120	100	94	▲ 6	185
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額	0	0	0	0	0	0	0
	3. 繰 越 工 事 資 金	0	0	0	0	0	0	0
補 て ん 財 源	4. そ の 他	0	26	26	26	26	0	26
	計 (D)	122	137	146	126	120	▲ 6	211
	補てん財源不足額 (C)－(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0
当 年 度 同 意 等 債 で 未 借 入 又 は 未 発 行 の 額 (F)		0	0	0	0	0	0	0
実 質 財 源 不 足 額 (E)－(F)		0	0	0	0	0	0	0

③一般会計等からの繰入金の見通し

	令和3年度 (実績)	4年度 (実績)	5年度 (実績)	6年度 (見込)	6年度 (実績)	比較	7年度 (目標)
収 益 的 収 支	(0) 430	(0) 400	(0) 385	(0) 515	(0) 512	(0) ▲ 3	(0) 425
資 本 的 収 支	(0) 20	(0) 0	(0) 10	(0) 5	(0) 8	(0) 3	(0) 25
合 計	(0) 450	(0) 400	(0) 395	(0) 520	(0) 520	(0) 0	(0) 450

(注) () 内はうち基準外繰入金額

「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」（総務副大臣通知）に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいう。